

防犯カメラは抑止力がありますが、万能ではありません。泥棒が入ったときに映像は記録しますが、**威嚇**等で犯行を止めさせる動作はできません。侵入警報システムなら、**犯行時に音・光等で泥棒を威嚇し、被害を未然に防ぐ、または最小限に止めることが可能です。**

センサーが侵入者を検知して、**コントローラー**に伝えます。コントローラーは、ベルなどの警報機器を制御し、**警報機器**が音や光で威嚇します。さらにコントローラーから侵入があったことをリアルタイムに登録者の携帯電話・スマートフォン等にお知らせすることも可能です。(機種による)

侵入検知	屋内用熱線センサー	屋外用赤外線センサー	携帯やスマホ等にお知らせ
	カメラ	レコーダー	
映像記録	カメラ	レコーダー	警報ベル
	セキュリティコントローラー	警報ランプ付ブザー	回転灯
			カメラシステムの異常をお知らせ

防犯カメラで常時記録することで、証拠能力が高まります。カメラシステムに万が一異常が起きても警報機器でお知らせすることが可能です。

システム構成例



TOA Security Communication

東亜システム株式会社

〒444-0913 愛知県岡崎市葵町2番地4
 TEL:0564-24-0285(代) FAX:0564-24-0174
 検索;みまわり太郎 フリーダイヤル;0120-188954
<https://www.toasystem.com> E-mail:info@toasystem.com